

まるごと一冊 ネコ特集 特別付録 岩合光昭の子猫カレンダー

週刊朝日

12・28
400円

岩合光昭が撮る
ニッポンのネコ
ペーコン

猫と幸せになる!

- 🐾 柄でわかる猫の性格診断
- 🐾 おやつ感覚で手作り猫ごはん
- 🐾 描き下ろし漫画「しっぽのお医者さん」
- 🐾 コラムも漫画も特集もぜ〜んぶ猫!

同窓会が 大学を救う

慶應三田会 早稲田稲門会 同志社校友会
滋賀大陵水会 小樽商科大緑丘会

大正十一年五月五日発行 毎週日曜朝刊 毎冊100部限定発行 送料別 印刷所 朝日新聞社印刷部

同窓会が

「慶應三田会」の全貌図

慶應連合三田会

年度三田会	76	地域三田会	320	職域三田会	256	諸会	218				
	(人数)	国内 246	海外 74	勤務先別 216	(人数)	職種別 40	(人数)				
1941年(昭和16年)三田会	2	北海道	10	ヨーロッパ	13	日立かなめ会	2000	公認会計士三田会	5470	ゼミナール	47
1948年(昭和23年)三田会	-	東北	21	北米・中米	19	東京海上日動三田会	1500	子報士三田会	4650	各種三田会	47
1958年(昭和33年)三田会	1363	関東	104	南米	6	富士通三田会	1141	三田法曹会	3687	文化団体連盟系	45
1968年(昭和43年)三田会	5400	中部	46	東アジア	10	損保ジャパン日本興亜三田会	1100	不動産三田会	870	体育会系	44
1978年(昭和53年)三田会	5100	近畿	16	東南アジア・西南アジア	13	三菱商事三田会	1100	旅行三田会	354	学部・学校別等	18
1988年(昭和63年)三田会	5300	中国	21	オセアニア	5	野村ホールディングス三田会	1004	東京証券三田会	300	スポーツ関係	12
1998年三田会	7000	四国	10	中近東	5	トヨタ三田会	1000	仏教三田会	300	自治会系	5
2008年三田会	6607	九州・沖縄	18	アフリカ	3	東芝三田会	1000	ホテル三田会	300		
2018年三田会	6500					東電三田会	1000	宇宙三田会	280		
						三井物産三田会	1000	出版三田会	280		
						三菱UFJ銀行三田会	1000				

慶應連合三田会のホームページなどをもとに作成

者の福澤論吉しくない。だから大学教授であっても学内の掲示板では「○○××君」である。私学らしく、創設者の教えが貫かれている。

同窓会活動として例外ではない。福澤が慶應を構成する塾生や教職員、塾員らを「社中」と呼び、全員の協力を呼びかけた「社中協力」は有名だ。そのスローガンのもと、福澤は同窓生の集まりを大切に、各地で開かれる大小さまざまな同窓会に進んで出席していた。東京では広尾の別邸に大勢の塾員を集めて、大園遊会を開いてもらった。

「同窓会重視の姿勢は、慶應が明治10年代に深刻な経営難に陥ったことと大きく関係しています」

こう話すのは塾員で慶應義塾福澤研究センター客員所員の曾野洋・四天王寺大学教授だ。

「当時の塾生は士族が多くを占めていました。士族の不满は高まる一方で、西南戦争に共鳴した塾生も大勢

も多く、総数は伸び続けています」

「三田会」の全貌をまとめたのが左の図だ。四つのカテゴリーがある。年度ごとの卒業生全員で構成される「年度三田会」。現在、戦前の「1941年三田会」から「2018年三田会」まで、総勢約37万5千人とされる。数が多いのは、勤めていた企業ごとに組織される「勤務先別三田会」と、自治体など地域ごとにある「地域三田会」だ(海外にも70以上ある)。「仕事系」ではほかに「職種別三田会」があり、そのほか「諸会」として「学部別」「文化団体連盟系」「体育会系」などがある。

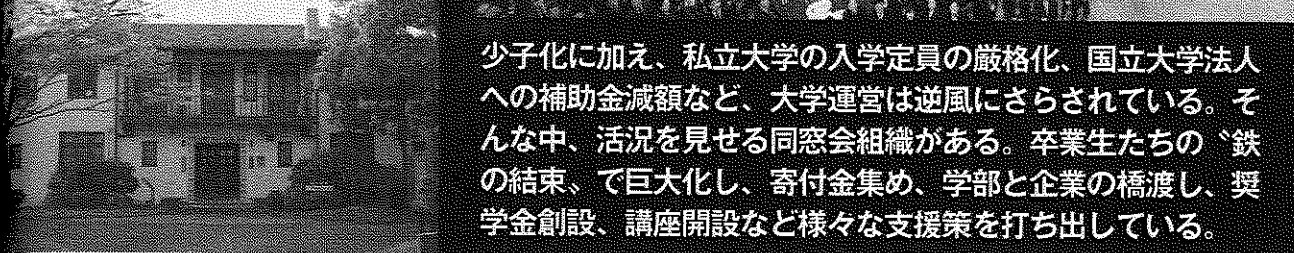
慶應OBのつながりの強さは、ある塾員がしみじみ話す次の言葉に象徴される。「慶應の卒業生とわかる、初対面でも昔からの知り合いのように思えちゃうんです」

なぜ、慶應に入ると、こう思うようになるのか。慶應には「先生」は創設

女から、「早稲田学報」の表紙は早大周辺で暮らす地域猫のわせねこ「茶々」。世話をする早稲田大学地域猫の会にはOBやOGからの寄付金が集まる。小樽商科大緑丘会の同窓会館は東京・池袋のサンシャイン60の57階。遠くに富士山を望める。同窓会組織でも「王者」の風格を見せる慶應大

慶應三田会 早稲田稲門会
同志社校友会 滋賀大陵水会 小樽商科大緑丘会

大学を救う!



少子化に加え、私立大学の入学定員の厳格化、国立大学法人への補助金減額など、大学運営は逆風にさらされている。そんな中、活況を見せる同窓会組織がある。卒業生たちの「鉄の結束」で巨大化し、寄付金集め、学部と企業の橋渡し、奨学金創設、講座開設など様々な支援策を打ち出している。

福澤の教えと「同窓会インフラ」完備 慶應三田会こそ最強の組織

10月21日。横浜市の慶應義塾大学日吉キャンパス。日曜日のこの日、夜も明けやらぬうちから次々と人がやってくる一角があった。普段は何もない校舎と校舎の間に、たくさんさんの長机とイスが並べられている。到着した人は、人の身長くらいの高さを組み立てては空いた机に立てかけていく。長机に直接、貼り紙をする人も。旗や紙には「団体名」が書かれている。

どうやら「場所取り」をしているようだ。朝5時すぎに駆け付けた50代の男性が言う。

「狙っていた場所は、もう埋まっていた。6時台にはすべての机が埋まっちゃいましたね」

午前1時半に来た団体もあつたという情報も流れていた。

「2018年慶應連合三田会大会」

この日は慶應の同窓会の集まりである「連合三田会」の年に1回のお祭りの日なのだ。外国車が当たる福引OB加山雄三のライブ、飲食の模擬店……。朝早くから続々と「塾員」(慶應ではOB・OGをこう呼ぶ)らが訪れ、キャンパスは2万人を超す慶應関係者で終日ごった返した。

「場所取り」は、個別の三田会が後からやってくる仲間たちのために行うものだ。旧交を温め合う場所の確保に、多くの塾員が完全ボランティアで未明から駆け付けるのだ。

日本の大学同窓会で最強といわれる「慶應三田会」。三田会の総本山である「慶應連合三田会」の村田作彌事務局長が言う。

「現在、870の個別三田会があります。高齢化などで活動をやめる団体もありますが、新設される三田会

も少なく、総数は伸び続けています」

「三田会」の全貌をまとめたのが左の図だ。四つのカテゴリーがある。年度ごとの卒業生全員で構成される「年度三田会」。現在、戦前の「1941年三田会」から「2018年三田会」まで、総勢約37万5千人とされる。数が多いのは、勤めていた企業ごとに組織される「勤務先別三田会」と、自治体など地域ごとにある「地域三田会」だ(海外にも70以上ある)。「仕事系」ではほかに「職種別三田会」があり、そのほか「諸会」として「学部別」「文化団体連盟系」「体育会系」などがある。

慶應OBのつながりの強さは、ある塾員がしみじみ話す次の言葉に象徴される。「慶應の卒業生とわかる、初対面でも昔からの知り合いのように思えちゃうんです」

なぜ、慶應に入ると、こう思うようになるのか。慶應には「先生」は創設

2013年度から毎年開かれている同志社校友会の大懇親会(右)。滋賀大陵水会の同窓会館

内容は高度だ。新聞ニュース、スポーツ報道、テレビ制作などを現役社員が講義する。課題があり、最後はグループワーク。「地元の問題」を新聞記事風にリポートするのも「あり」だ。

昨年は九州で、今年は東京で新たなメディアアクトローパーが発足している。

校友会本部も大学との連携を深めている。資金的裏付けができたため、奨学金の提供や各種事業を支援している。

「それでいい。『自主自立』が大事ですから」

それでも「大学のために」を合言葉に校友会活動は変化した。新たな「化学反応」は起きるのだろうか。

滋賀大陵承会は看板学部と企業橋渡し 海外留学を目指す学生に奨学金支援

11月、東京ミッドタウン日比谷で開催された「Data Scientist Fes. 2018」を前に、滋賀大経済学部・データサイエンス学部の同窓会「陵水会」は、参加の動員をかけるかどうか、思案した。数理統計学の権威で、3年前に同大が国内初のデータサイエンス学部を立ち上げた際、白羽の矢を立て招聘した竹村彰通学部長が特別セッションで登壇するからだ。

だが杞憂に終わった。400人の会場は満席で、同会の小椋清司理事長は「データサイエンスへの関心の高さ、ビッグデータを分析し価値を生み出す人材育成の大切さを改めて知ることとなった」と話す。

同大は1922（大正11）年に創立した彦根高等学校の流れをくむ。長らく経済と教育の2学部体制で運営されてきたが、データサイエンスの育成がわが国の喫緊の課題となる中、4年前、佐和隆光前学長のイニシアチブのもとで新学部構想が浮上。2017年に国内初の文理融合型のデータサイエンス学部を創設し、今、各界から大きな注目を集めている。

新学部は企業や公的機関と100件近い連携協定を結ぶが、企業などの橋渡しに存在感を示したのが、陵水会だ。同大と企業との面談の仲介をする機会が増えた小椋理事長は「米国や中国では、統計分野で毎年数百人から1千人近い博士が誕生すると聞く。データサイエンス教育への需要は高まるばかりで、日本の人材育成の大幅な遅れを少しでも挽回できればとの思いで、母校への支援は惜しまない」と語る。

竹村学部長は著書の「データサイエンス入門」（岩波新書）で「データサイエンス学部の卒業生が教科書的にきれいなデータだけを扱っていたのでは、企業に進み、実際のデータに直面した時に、かなりとまどってしまうであろう。（中略）卒業生が意思決定に影響を及ぼすためには、データの分析から得られた結論を実際の課題に即して具体的に説明することが求められる」との配慮から、協定や共同研究といった形で企業などの連携を進めた経緯を記している。

その努力は実績となって各方面で評価されている。トヨタ自動車と共同で、現場のビッグデータを分析・活用できる専門人材を育成する「機械学習実践道場」を立ち上げ、トヨタグループ各社から選抜された36人（昨年度は46人）のエンジニアが同大の豊富な教授陣から毎月講義を受ける。このほか、50億超の自動車保険テレマティクスデータを保有するあいおいニッセイ同和損保が、同大にビッグデータ専門研究拠点を開設し、安全運転判定の

的にきれいなデータだけを扱っていたのでは、企業に進み、実際のデータに直面した時に、かなりとまどってしまうであろう。（中略）卒業生が意思決定に影響を及ぼすためには、データの分析から得られた結論を実際の課題に即して具体的に説明することが求められる」との配慮から、協定や共同研究といった形で企業などの連携を進めた経緯を記している。

その努力は実績となって各方面で評価されている。トヨタ自動車と共同で、現場のビッグデータを分析・活用できる専門人材を育成する「機械学習実践道場」を立ち上げ、トヨタグループ各社から選抜された36人（昨年度は46人）のエンジニアが同大の豊富な教授陣から毎月講義を受ける。このほか、50億超の自動車保険テレマティクスデータを保有するあいおいニッセイ同和損保が、同大にビッグデータ専門研究拠点を開設し、安全運転判定の

- 主な滋賀大学（前身含む）OB
=敬称略
川瀬源太郎（日本生命元社長）
宇野宗佑（元内閣総理大臣）
樋口廣太郎（アサヒビール元社長）
玉井義臣（あしなが育英会創始者・会長）
柏原康夫（京都銀行元頭取）
小林耕士（トヨタ自動車副社長）
飯塚浩彦（産経新聞社長）
西田昌司（参議院議員）

海外留学に意欲を持つ学生に対し、1人当たり100万円を限度に奨学金を給付できるようにした。

大学の選考面接には小椋理事長ら同会関係者が立ち会う。「動機が語学学習だけでは困る。帰国後、あるいは実社会に進んだ後、どのぐらい成長するかフォロワーとして測ってみたい。企業の採用面接のような感じでこちらも真剣勝負です」（小椋理事長）

大学の授業にも加わる。社会の第一線で活躍する卒業生を講師として、リトドールシブ論の特別講義を毎年7コマ提供。実践的な話が聴けるとあって、学生からの人気も高い。

就職支援でも、大学と連携しながらOBやOGによる就職相談も様々な形で開催される。数多くの近江商人が輩出した土地柄であり、同大は彦根高商の伝統もあって、実業界の人脈は一方国立大学の枠をはるかに超えており、学生にとって卒業後も、陵水会は頼もしい存在であり続ける。

卒業生の企業トップらが「ビジネス塾」小樽商科大緑丘会が学生らに見せる「背中」

12月8日。東京・池袋のランドマークでもある60階建てのサンシャイン60の57階のフロアでは、住友商事元副社長の島崎憲明さんらを若者が囲み、グループ討議をしていた。

このフロアは小樽商科大の同窓会組織「緑丘会」の同窓会館。同大卒の島崎さんは同会理事長を務める。

「緑丘ビジネス塾」と称して、数カ月に1回、島崎理事長ら企業的第一線で活躍する卒業生らが講師役となる。集まるのは平成二桁に同大を卒業した主に首都圏在住の若者らだ。

今回の講師役となった島崎理事長は、「私が大切にしてきたこと」と題し、成功例や大損を招いたプロジ

エクトの事後処理といった経験談を披露。「軸や信念を持って行動するバンカラ精神を養ってほしい。人間的なスキルの大きさを大切」。「学力や記憶力は大きな要素ではあるが、社会に出てから求められる問題解決能力、説得力、創造力といった力は、学力では測れない」と説いた。

ビジネス塾開催は、若い卒業生の同窓会離れを食い止める目的があるが、それだけではない。島崎理事長は言う。

「一線で活躍してきた、あるいは現在活躍する人たちの背中を見て、若い人たちにも続いてほしいと願い、開催しています。在学中の学生の年齢に近い彼らの活躍は、大学にも刺激を与えるはずですよ。それも母校愛だと思っています」

小樽市内の丘の上に立つ大学からは、小樽湾が一望できる。海外の貿易船の往來も盛んだった1969年に卒業した島崎理事長が在学中、「メーカーや商社、金融といった企業に入り、海外で仕事をしたいと熱望する同級生が多かった」と振り返る。「サミュエルソンの経済学の原書を使った授業は、毎週相当のピッチで進み、苦勞した」という島崎理事長は、住友商事時代、ニューヨークに8年間駐在。現地でサミュエルソンの講演会を聴く機会を得た。「地方の大学ながら、レベルの高い授業を受けさせてもらったおかげ」と感激したこの体験が、伸びゆく後輩たちのために尽力す

- 主な小樽商科大（前身含む）OB
=敬称略
佐野力（元日本オラルク会長）
石田建昭（東海東京フィナンシャルホールディングス社長）
田尾延幸（ムトウ会長）
早川好寛（日本経済新聞社顧問）
十河政則（ダイキン工業社長）
三浦和哉（日立キャピタル会長）
合場直人（サンシャインシティ社長）
石垣幸俊（ブルドックソース社長）
小林多喜二（作家）



「緑丘ビジネス塾」で若い卒業生らと討議する島崎さん（写真右から3人目）

3男1女東大理III合格！佐藤亮子 佐藤ママの子育てバイブル 学びの黄金ルール42 絶賛発売中 定価1620円税込み